

おれんげニュース



No 2 4 1

2010年4月号



2月25日 元井谷から一面の福寿草

★4月3日(土)第31回定期総会 10:00～15:00 西諫早公民館★

★集会・委員会・行事関係のお知らせ★

★山行の一步は会合から★

| | 4月 | | | 5月 | | |
|--------|--------|-------------|--------|--------|-------------|--------|
| 運営委員会 | 13日(火) | 19:30～22:00 | 西諫早公民館 | 11日(火) | 19:30～22:00 | 西諫早公民館 |
| ひまわり集会 | 2日(金) | 13:30～15:30 | 西諫早公民館 | 7日(金) | 13:30～15:30 | 西諫早公民館 |
| 全体集会 | 27日(火) | 19:00～22:00 | 西諫早公民館 | 25日(火) | 19:00～22:00 | 西諫早公民館 |



巨岩のそばをもくもくと歩く



岩に登ってはしゃぐ男二人



八面山の頂上にて全員集合



山伏も歩いた道をもくもくと

八面山の
八面方向に
カメラを
むけてみました。



鹿子の木と書くようです



八面神社にもお参りして・・・



4月の山行計画

| 部 | 山行部 | ひまわり山行部 | 技術研修部 | 技術研修部 |
|--------------|--|---------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 月 日 | 11日(日) | 16日(金) | 24日(土) | 29日(木) |
| 山 名 (行 事) | 耳納連山 高良山 368m 舂方山 607m グライダー山白山677m 発心山 698m | 天草矢筈岳 (476m) | 雁俣山 | 由布岳 1583.3m |
| 地 図 | 田主丸・草野 | 湯出 | 葉木 | 別府西部 |
| 集 合 出 発 | JR諫早駅裏 7:00 JR西諫早駅 7:10 | JR西諫早駅 7:30 | JR諫早駅裏 6:00 JR西諫早駅 6:10 | JR諫早駅裏 6:00 JR西諫早駅 6:10 |
| 帰 着 時 間 | 19:30 頃 | 18:45 頃 | 19:30 頃 | 18:00頃 |
| 歩 行 時 間 | 4. 5時間程度 | 6時間程度 | 5時間程度 | 5時間程度 |
| 難 易 度 | 初心者 | 初心者 | 初心者 | 一般向き |
| 交 通 手 段 | マイクロバス | 船舶&自動車 | マイクロバス | マイクロバス |
| 宿 泊 施 設 | 日帰り | 日帰り | 日帰り | 日帰り |
| 温 泉 | 有り | 小浜 | 有り | なし |
| 参 加 費 | 5,000 円 | フェリー代 ガソリン代 運転者への謝礼 | 5,000 円 | 5,000 円 |
| 申 込 期 限 | 満員になりしだい | 4月12日 | 満員になりしだい | 満員になりしだい |
| 集 約 | 田中 | 江崎 | 佐原 | 佐原 |
| 備 考 | 夏目漱石も歩いた 連山 | 天草四郎の足跡 を歩いて | カタクリの花を求 めて | サクラソウの咲く 時期、保護地を 見てみよう |
| 感 想 提 出 | 4/20(火)まで | 4/26(月)まで | 5/8(土)まで | 5/10(月)まで |



畳20畳敷きぐらいの
おおきな石舞台にみんな
で乗ってみました。



5月の山行計画

| 部 | 技術研修部 | ひまわり山行部 | 山行部 |
|---------|---|---------------------------|------------------------------------|
| 月 日 | 2日(日)~3日(月) | 14日(金) | 30日(日) |
| 山 名 | <small>いむたがいけ</small> 藺牟田池外輪山 長尾山、本仏石 | 帆場岳 506m 四ツ峠 | 弓張岳 364m 但馬岳 385.7m 将冠岳 449m |
| 地 図 | 塔之原 横川、薩摩黒木 | 長崎東北部 長崎島南部 | 佐世保北部 |
| 集 合 場 所 | JR諫早駅 6:00 JR西諫早 6:10 | JR諫早駅 7:23 JR西諫早駅 7:27 | JR諫早駅 7:00 JR西諫早 7:10 |
| 帰 着 時 間 | 19:30 | 18:00 | 19:30 |
| 歩 行 時 間 | 4.5時間程度 | | |
| 難 易 度 | | 一般 | 中級 |
| 交 通 手 段 | マイクロバス | JR&バス | マイクロバス |
| 宿 泊 施 設 | バンガロー | なし | 日帰り |
| 温 泉 | いこいの村いむた池 | なし | |
| 参 加 費 | 12,000 円 | 運賃実費 | 3,500 円 |
| 申 込 期 限 | 満員になり次第 | | 満員になり次第 |
| 集 約 | 佐原 | 江崎 | 田中 |
| 備 考 | ベッコウトンポを見て みよう | 360度の大パノラマ | 西海九十九島展望 やまつつじ鑑賞登山 |
| 感 想 提 出 | 5/11(火) | 5/25(火) | 6/8(火) |

★自然保護部より お知らせ

3月31日(水)の野岳行き⇒桜のとけん山に変更します。

出発諫早駅バスセンター・島鉄バス 8:50 発→橘神社まで 温泉有り 集約中村

★第31回 定期総会

4月3日(土)

10:00より 西諫早公民館にて

簡単な昼食を用意しております。

総会後は御館山公園にてお花見の予定です。



あたらしい仲間

中里 利行さん

諫早市在住

「山や海や川など、自然がすきで時々歩いたりしています。行った事がない所ばかりなので道など教えて下さる方がいらっしゃるグループで活動したいと思い入会しました。よろしくお願いします。」

★オレンジHCのいろんな行事に柔和なやさしい笑みをもって参加して下さいました
松本 崇さんが3月12日午後、お亡くなりになりました。
謹んでご冥福をおいのりいたします。

技術研修部より

4月17日(土) セルフレスキュー

4月22日(木) 岩登り



ニュース

★ 2月28日、県連の定期総会（第45回）開催されました。
オレンジHCからは福岡会長、坂口県連理事、代議員として中須賀、鎗水、山下の三名が出席。

★ 県連の写真展が行われました。今回は第一回で2月28日～3月7日まで
長崎市浜町 石丸文行堂6Fにて
当オレンジHCからは川原慶紀、坂口荘一、中須賀孝正、鎗水律夫の四名が力作を出品。





2月・3月の山行報告

2月14日(日)

奥耶馬 八面山(666m)

(参加者) 中須賀 松尾 山口(い) 林田 金丸(直) 江崎 國分 鎗水
田中(静) 川原 田中(紘) 佐藤 松園 山下 (14名)

(行程) 6:00 諫早駅裏～6:10 西駅～8:05 日田IC～9:20 いこいの森登山口～9:30 スタート～11:50 第4展望所～12:05 八面山頂上着(昼食)～12:30 下山開始～14:00 いこいの森登山口着



(感想) 日にちてきにはバレンタインデーと世間が称してる日の登山であった。バスの中では女性陣からやたらとチョコレートが配られててそのおこぼれを私も沢山いただいた。そんな日に登った山は仏教遺跡も多く点在し地元では箭山(ややま)と呼ばれている山岳信仰の山であった。

登山口に着く前に箭山権現石舞台に行った。足利尊氏が九州に下った時この巨石の上で武運長久をいのったという

らしい。この岩でボルダリングをやってる青年に出会った。下に安全マットを敷き一人で楽しんでた。我々はこの岩の上から景色を楽しんだ後、八面山の登山口へ。

箭山神社までは車で行けるご時世だがオレンジのメンバーがそんなところ行くわけがない。山伏が通ったであろう急登をもくもくと登る。途中、一の滝のそばを通過し山伏が雨やどりしそうなおおきな岩屋のところを歩くこと1時間45分。りっぱな道路とトイレを完備してある箭山神社に到着。この神社は宇佐神宮の宮祖にあたり箭竹が生えていた所から箭山神社といわれたらしい。ここ辺りから



登り始めの時に出会った方が案内役を買って出てくださいって非常に助かった。少しの車道歩きのものち山道に入る所などは、こういう案内の人がいればこそで迷わず進んでいった。八面山の東南端「しょうけのはな」という三角点では、久住連山が望める絶壁であった。松尾さんが相変わらず身軽に飛び回るので肝を冷やしたりもした。



展望地はこの後も第4展望、第3展望と続き、ちょうど、お昼に八面山頂上に到着した。

たいして風もなく眺めもいいので思い思いの所に陣取って昼食。

最近、私はチキンラーメンにはまってる。1袋持ってきて半分位カップに入れてお湯をそそいで食べるのがマイブームなのである。これは、オレンジのSさんが良く食べていらしたのを横でみてまねしてみた。寒い山では五臓六腑に熱いスープがしみる。すると、今日は横でYさんがこれの小さいカップでしかも卵とじみたいな物も入っているのをたべていた。こんどはきっとあれを山に持ってこよう。(心に決める山下であった。)

下山時は、巻き道で、第2展望地、第1展望地を

通ってそれぞれの展望岩で眺めも岩登りも楽しんで登山口に戻った。午後2時であった。途中、神護寺で涅槃像をおがみ、心を清め、次に温泉に入って汗を流し帰りのバスのなかでも陽気に歌って諫早に着くころ心配していた雨になり、今日一日山で、雨にあわずにすんでホットして家路についた。

(山下ちず子)

2月24日(水)

竹崎半島一周

(参加者) 小山 佐藤 松尾 山口い
川内 水江 中村 佐原
岩永さ 森 江崎 林田 小島
(13名)



(行程) 7:54 諫早駅発～8:30 肥前大浦駅
9:30「P136点」到着～10:40 東洋荘前～大浦甲の島～竹崎城址～11:30 竹崎城址展望台～竹崎観世音寺～14:00 道越古墳～15:00 肥前大浦駅～15:44 J R乗車

(感想) その日は朝から雲ひとつない良いお天気。気温も、21、22度位で4月中旬の温度とか、異常気象だそうである。三寒四温とは今頃の事をいうのでしょうか・・・。

1月10日多良岳金泉寺参拝以来の参加で皆様と逢えるのが楽しみでした。



諫早駅を7時54分出発で私は8時15分、湯江駅で合流しました。普通列車でのんびり行くのも何年振りでしょうか・・・？

私達一行が貸し切っている様なものです。遠慮なくおしゃべりが出来朝からにぎやかでした。

大浦駅に8時30分到着。まずは大浦中学校めざして出発しました。

中村様、山口様が下見に来られたそうで大変お疲れ様でした。

大浦中学校から左手に行くとは海岸線、右の方に行くとは山の方ということで竹崎で一番高い山（P136点）へ向かいました。

地図では頂上あたりで行き止まりの様なので、又中学校へ戻る覚悟で行って見る事になったのです。回り一面みかんばかりで防風林に囲まれ大切に育ててあるのがよくわかります。防風林の剪定なども行われていました。私が娘のころは竹崎はタイラギ漁が盛んで、タイラギ御殿が立ち並んでいたそうですが今は不漁になり海よりも丘の仕事が多くなり回り一面みかん山に変わっていった様です・・・。やはり行き止まりで中学校に戻りそこで小休止。10時30分頃から、海岸辺りを竹崎城をめざして歩きました。途中、海の中に鶴の瀬燈台、カモなど見る事ができました。竹崎城址展望台で昼食です。3時40分頃までに大浦駅に着けばいいという事で時間はたっぷり。山歩きと違いのんびり。昼食後はお昼寝も出来る位のんびりしました。

その後、竹崎観世音寺に参拝し、汽車の時間がまだありそうなのでカキ焼きを食べて帰ろうという声もありましたが、残念な事に一路駅に向かい、駅で40分程松尾さんの話に笑いころげました。

陰を歩きたい程あたたかい、のどかな一日を楽しませて頂きました。ありがとうございました。
(岩永幸子)



2月24日 (水)

自主山行 (多良西岳・笹岳南峰)



(参加者) 坂口 (CL)、山下、下釜、松園
計4名

8:00 諫早発→8:50 金泉寺下→9:20 金泉寺→
9:50 西岳→10:20 笹岳南峰 (食事)
→11:00 笹岳南峰発→11:40 金泉寺下→12:30
諫早着

(感想)

2月23日のOHC全体集会の後、「マンサ

クはもう咲いているかなあ」という質問に、「笹南峰は咲いていると思うから案内しようか?」と坂口氏が申し出てくれた。

渡りに船とばかりに好意に甘え、すぐ翌日の山行が決まった。

午後から予定が入っている私に配慮して、出発を8時に早めてくれる。感謝!

広域林道を金泉寺下まで走り、簡単な体操を各自で行って出発。少人数だと、つい手順を省くので行動が早くなる。普通だと30分はかかる石山道を20分で登った。

金泉寺では、落慶法要後初めて来たという者もあり、参拝を済ませてから西岳経由で笹岳を目指す。緩やかな登りで足元の枯葉道は歩きやすい。10分くらいで西岳に到着。

経ヶ岳を背景に写真撮影をして下りにかかる。西岳からの下りは、経ヶ岳の直登コースに似ている。距離は短いが急降下である。木の枝につかまりながら用心して降りた。

中山峠～金泉寺へのルートに出ると、笹岳入り口にはすぐ着いた。

マンサクは丁度満開で、高木から低木まで5～6本はあるだろうか。木によっては鼻先まで枝が伸びている。オレンジニュースで見た、蕾から中咲き、満開の花が手に取るように眺められる。笹岳は中山峠ルートへの中間地点になっており、花を楽しむには絶好の場所である。枝に向かって、「あなたに会いに来たよ」とこそっと語りかけた。陽が射すと青空に点描画のような黄色の花が映えて、見とれるくらい美しい。

ザックをおろして花を眺めながら、少し早い食事を摂った。

中山峠へ向かう道筋には、まだマンサクの木がたくさんあるとのことで、少し先まで足を伸ばしたが、枝先にちらほら黄色の蕾が見える程度だったので、これからが楽しめるだろう。時間差で花が楽しめる山はいい。至福の半日を過ごして帰路に着いた。

(記録：松園)



2月25日(木)

仰烏帽子山(1301.8m) 福寿草を愛でに

(参加者) 川原(C L)、佐原(S L) 山下(P L)、松園(S L)、田中静、中野、下釜、兵庫、森寿(元) 9名



(行程)

6:10 西諫早発→8:50 松橋 I C→9:50 大通峠→
10:15 元井谷着→10:30 元井谷発→11:45 仏石分岐
→12:17 仰烏帽子山頂着(昼食) 12:37 山頂発→
13:05 仏石分岐→13:15 仏石着→13:40 仏石発→
14:45 元井谷着→16:45 五木温泉発→20:00 諫早着

(感想)

天気予報では曇りのち雨である。「陽が射さないと福寿草は咲いてくれないよね」と、車の中は空模様を気にする女性群の声が多かったが、福寿草に執念を燃やして山行を希望した山下女史に恐れをなしてか、天は我々に味方してくれた。

元井谷登山口から仏石分岐に至る谷筋は、見事な福寿草の群生であった。

午前中は薄日も射し、山の斜面には黄金色の可愛い花が小さな群れを作って、そこかしこに咲いている。「これが雪の中に咲いていれば・・・」なんて、贅沢は言うまい。

登り口付近では一輪ずつ、ぽつりぽつり咲いていたが、やがて山肌の斜面は黄色の絨毯のようになり、谷の中間点あたりでは、足元の両側に咲いているので、注意をしていないと危うく踏みつけそうになった。

仰烏帽子山には何回も来ているという川原CLも、「こんなに咲いているのは初めて見た！」とのこと。

写真を撮りながらのゆっくり登坂であったが、谷の奥付近になると曇り空になってきたので少しだけピッチをあげる。仏石分岐で仰烏帽子の山頂を目指す班と、仏石に向かう班に別れた。山頂を目指すのは御館山歩き組みの4人である。ヒノキの樹林帯をひたすら登っていくと30分余で山頂に着いた。360度の眺望は抜群であるが風が強いので、早々に昼食にする。

(帰宅したら、天気予報で九州北部は春一番が吹いたと言っていた。どうりで、大通峠での風の強さが半端ではなかったことに納得。)

ゆっくり班が仏石で待っているのので、昼食を済ませるとすぐ仏石に向かう。

仏石付近も福寿草の花盛りで、先着班は心ゆくまで花を楽しんでいた模様である。

川原CLに誘われて仏石に登ってみることに・・・、下から見上げると、とても登れそうにはない岩であるが、右に回り込むと、勇気さえあれば登れそうな岩組みがあった。

最近、岩さえ見れば、「これ登れそうかなあ」とのたまう、岩場マダムの山下女史の後をついて登る。大岩の最上部には石仏の像が安置されていた。



と

岩と花を堪能して帰路に着く。登りは花につられて登ったので距離はそう感じなかったが、帰りは長い。元井谷が結構深い谷であることに改めて驚かされる。それでも仏石から1時間5分で登山口に帰り着いた。五木温泉で汗を流し、諫早帰着は20時ジャストであった。

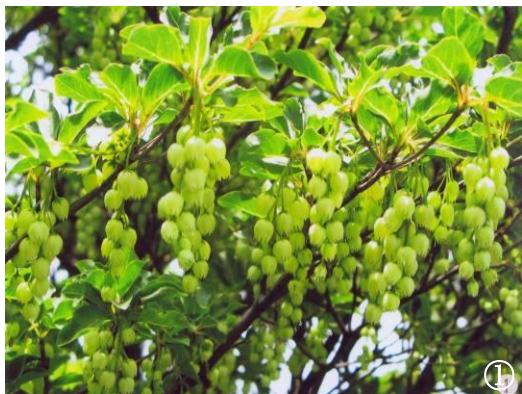
幸運にも雨は高速に乗ってからで、お天気と花に恵まれた最高の山行であった。

松園朱實



はなまめちしき②

「シロドウダン」とその仲間たち



広く知られています。

それに対してシロドウダンの花は緑白色であり目立ちませんが清楚で美しく、釣り鐘状の花が総状にぶら下がった姿は可憐で可愛らしく眺めて飽きません。シロドウダンの魅力は既に80年以上も前から公式に認められており、1928年に「地獄地帯シロドウダン群落」として国の天然

坂口 荘一
シロドウダンはミヤマキリシマほど有名ではありませんが、雲仙を代表する花のひとつです（写真①）。ミヤマキリシマはピンク系、オレンジ系の派手な色で美しさを誇り、長崎県、鹿児島県と雲仙市の花に指定され、別名「雲仙ツツジ」とも呼ばれています。また、雲仙だけでなく九州の高地に自生し、阿蘇、九重、霧島などでも代表的な花木として



する」+「*anthos* 花」から「ふくらんだ花」という意味です。漢字では「白灯台、白燈台」と書きます。「灯台、燈台」の由来は枝が分岐している形が昔の「結び灯台」という油皿を乗せた3本脚の照明に似ていることによるそうです。

雲仙ではシロドウダンに混じってうっすらと紅をさしたような花の木が見受けられますが、これはベニドウダンです（写真②）。雲仙だけでなく久住山系にもシロドウダンとベニドウダンがあります。ベニドウダンの紅色は木によって濃淡がありますが、雲仙に比べて久住山系では紅色の濃いものを多く見かけるような気がします（写真③）。久住山系にはシロドウダンとベニドウダンのほかに国内でこの地域だけに分布するツクシドウダンというのがあります（写真④）。シロドウダンとベニドウダンは九州から近畿地方にかけて広く分布し、花の形がよく似ていますが、ツクシドウダンは分布域が狭く、花びらの切れ込みが深く、花の形がサラサドウダンに似ているのが大きな特徴です。

記念物に指定されています。

シロドウダンはミヤマキリシマと同じツツジ落葉低木です。花の時期は地獄付近では5月中旬から下旬とされますが、国見岳山麓から妙見神社付近では5月下旬から6月上旬が見頃です。学名は *Enkianthus cernuus* で、*Enkianthus* は「*enkiyos* 妊娠





頂上を制した健脚組



仏石を制したつわものども



2月24日笹岳のマンサク



樹齡千年以上のオガタマ
諫早市小長井町長里にて